

# 教員採用試験を考える

筆記試験

教養関係か小論文

実技試験

専門教養

集団面接

面接試験

個人面接

模擬授業  
を含む

県によっては違うが、多くはこの構成

# 必ずある“専門教養”とは

## ◆ 教科・科目に関する知識・技能

教えなければならない内容〔問題〕が解ける！

## ◆ 教科・科目の指導目標・指導内容の理解

※学習指導要領からの出題

何を指して、何を教えるのか？

## ◆ 教科・科目の指導方法の理解

説明の仕方や教え方の工夫は？



# 令和5年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査の結果について

区 分	合格者数		志願者数	欠席者数	受審者数	倍率	特別選考 合格者数 (A+B) (内数)
	A	B					
小学校	83	11	366	33	333	3.5	50
中学校	44	5	277	29	248	5.1	27
高等学校	37	4	370	41	329	8.0	27
特別支援学校	16	3	51	7	44	2.3	9
小中高特支養護教諭	3	1	114	10	104	26.0	4
小中栄養教諭	1	0	11	2	9	9.0	1
障がい者特別選考	1	0	4	0	4	4.0	
合 計	<b>185</b>	<b>24</b>	<b>1,193</b>	122	1,071	5.1	118
	注)	Aは、令和5年4月1日に採用予定の者					
		Bは、欠員状況等により採用予定の者					
		倍率は、受審者数÷合格者数					

徳島県の最終倍率（1次受験者数をA名簿登録者数で割ったもの）は全校種合計で**5.5倍**（前年度5.5倍）となった。  
 主な校種別では小学校が**3.5倍**（前年度3.9倍）、中学校が**5.1倍**（前年度5.4倍）、養護教諭が**26.0倍**（前年度33.3倍）となっている。

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験の第2次選考試験結果をお知らせします。

種別	出願者数		第1次試験受験者数		第1次試験合格者数		第2次試験受験者数		第2次試験合格者数		倍率 (A/B)
	種別毎人数*	実人数	種別毎人数* (A)	実人数	種別毎人数*	実人数	種別毎人数*	実人数	種別毎人数* (B)	実人数	
小学校	432 [504]	711 [806]	393 [435]	633 [702]	232 [280]	357 [398]	224 [275]	346 [390]	115 [139]	184 [204]	3.4 [3.1]
中学校	353 [388]		308 [338]		150 [145]		143 [141]		74 [76]		4.2 [4.4]

# 筆記審査

徳島県の場合

## 教養審査(一次)【教職教養】

教育公務員として必要な教養及び知識について  
審査

## 専門審査(一次)【専門教科等】

教科等の専門的知識及び能力について審査

## 論文審査(一次)

教育をめぐる様々な課題等について、  
教育実習等の経験を通して学んだこと

※ 令和5年に実施した内容です。

## 徳島県の場合

### 令和7年度教員採用候補者選考審査の変更点

#### 1. 小学校教諭選考審査における英語力の評価方法の重点化

【変更前】第2次審査において模擬授業(令和6年度の教科は算数)とは別に、実技審査(英語)を実施。



【変更後】第2次審査において模擬授業の教科を外国語(英語)とし、実技審査(英語)は実施しない。  
5分程度の模擬授業を実施。



# 徳島県では(昨年度の例から)

## 採用までのスケジュール 令和6年度 採用審査

願書受付	第1次審査	第1次審査 結果発表	第2次審査	第2次審査 結果発表	配属先決定	採用
5月8日(月) ~22日(月)	7月15日(土) 16日(日)	8月4日(金)	8月15日(火) ~25日(金)	9月29日(金)	令和6年 3月下旬	令和6年 4月1日

### 令和6年度 採用審査のポイント

詳しくはホームページまたは審査要綱で確認してください。

(1) 第1次審査の変更 一般教養審査の廃止

(2) 特別選考(現職教員を対象とした選考)の年齢要件の変更

変更前: 30歳~44歳

変更後: 年齢制限なし。ただし、2年以上の経験を要する。

(4) 特別支援学校教諭の募集対象に「医療的ケア(自立活動)」担当教諭を新設

(5) 養護教諭の募集を全校種一括から「小・中学校」と「高・特支」に分けて実施

(6) 第1次審査において、東京試験会場を設置

(7) 加点申請制度の対象項目に、「本県での臨時教員等の勤務経験を有する者」を追加。

(3) 特別選考の区分を  
9選考区分から7選考区分へ再体系化

特別選考

- ①「社会人を対象とした選考」
- ②「本県での教職経験を有する者又は現職教員を対象とする選考」
- ③「スポーツ特別選考」
- ④「臨時教員に係る特別選考」
- ⑤「大学・大学院推薦による特別選考」
- ⑥「英語特別選考」
- ⑦「前年度の選考審査結果による選考」

# 徳島県では

## 日程表

	項目	実施日
(1)	申込受付期間	5月9日(木)～5月27日(月)
(2)	第1次審査(筆記審査)	7月20日(土)
(3)	第1次実技審査(音・美・体・書)	7月21日(日)
(4)	第2次審査(個人面接・模擬授業)	8月16日(金)～23日(金)
(5)	審査結果通知	9月18日(水)



# 令和7年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査要項

徳島県教育委員会

令和7年度徳島県公立学校教員の採用候補者選考審査を次のとおり実施する。

## 1 募集対象

校種等及び職種		教科等	採用予定数 【(注)1参照】
小学校教諭			168名程度
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語【2(注)4参照】	
高等学校教諭		国語、地理歴史、公民、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、音楽、美術、書道【2(注)2参照】、英語【2(注)3参照】、家庭、情報、農業、商業工業(機械、電気、建築、土木、工業デザイン、工業化学)、看護、福祉	66名程度
特別支援 学校教諭 【2(注)4参照】	小学部	視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
	中・高等部	視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
		医療的ケア(自立活動)担当【2(注)5参照】	
養護教諭		小学校・中学校	2名程度
		高等学校・特別支援学校	2名程度
栄養教諭		小学校・中学校	1名程度
身体に障がいのある者を対象とした選考		すべての校種等及び職種並びに教科等	5名程度

# 徳島県

## (2) 第1次審査の配点

実施内容		一般選考		特別選考		
		実技審査のある 校種・教科等	実技審査のない 校種・教科等	①②イ④⑤⑦ウ		③イ
				実技審査のある 校種・教科等	実技審査のない 校種・教科等	保体(中・高)
筆記審査	教職教養	50点	50点	50点	50点	50点
	専門	200点	350点	250点	450点	150点
実技審査		150点		200点		300点
論文審査		100点	100点			
一次審査合計		500点				

## 8 第1次審査の結果

令和6年8月5日(月)午後2時頃、第1次審査合格者の受験番号を県庁西側の掲示板に発表するとともに、徳島県教育委員会教職員課ホームページに掲載し、本人への通知とする。

## 9 第2次審査 ※第1次審査に合格した者、及び第1次審査を免除された者について実施する。

### (1) 日程・実施内容・会場等

月 日	時 間	実 施 内 容 ・ 会 場 等
8月16日(金) ？ 8月23日(金)	9:00～18:00	<p>【模擬授業】 ※別に指定する日時に行う。 (小・中・高・特支養護教諭、小・中栄養教諭、特別支援学校教諭(医療的ケア(自立活動)担当)受験者は場面指導を行う。)</p> <p>【個人面接審査】 ※模擬授業に引き続き行う。</p> <p>○鳴門教育大学附属小学校(徳島市南前川町1-1) 小学校教諭、中学校教諭、小・中栄養教諭、小・中養護教諭</p> <p>○徳島県立総合教育センター(板野郡板野町犬伏字東谷1-7) 高等学校教諭、特別支援学校教諭、高・特支養護教諭</p>

- (注) 1 高等学校教諭「書道」の模擬授業は、「書道」について実施する。  
2 受付終了時刻(徳島県教育委員会教職員課HPに掲載する日程による)に20分以上遅刻した者は受審を認めない。

# 徳島県

7月20日(土)	8:30～ 9:00	<b>【受付】</b> ○城南高等学校(徳島市城南町2丁目2番88号) 小学校教諭、中学校教諭、小・中栄養教諭、 小・中養護教諭 ○城東高等学校(徳島市中徳島町1丁目5番地) 高等学校教諭、特別支援学校教諭、高・特支養護教諭 ○東京交通会館 (東京都千代田区有楽町2-10-1)全校種・職種 ※出願時に東京試験会場での受審を希望した者	※左記の一般選考受審者の筆記審査(専門・教職教養)までの日程と同じ	
	9:00～	<b>【諸注意等】</b>		
	9:20～ 11:00	<b>【筆記審査(専門・教職教養)】100分間</b> ※教科等の専門的知識や教育公務員として必要な教養等について審査 ※中・高「英語」の小学校教諭併願者は小学校(専門)を受審 ※高校教諭受審者の高「情報」併願者は高(情報以外の教科専門)を受審		<b>【受付】</b> 10:40～11:00 <b>【諸注意等】</b> 11:00～11:10
	11:30～ 12:50	<b>【論文審査】80分間</b> ※教育公務員としての意欲・資質・能力について審査		<b>【論文審査】</b>
	13:40～ ～15:00英語 ～15:20情報	<b>【筆記審査(専門・教職教養)】(中・高「英語」80分間、高「情報」100分間)</b> ※教科等の専門的知識や教育公務員として必要な教養等について審査 (中・高「英語」、高「情報」受審者)	<b>【筆記審査(専門・教職教養)】(中・高「英語」、高「情報」)受審者</b>	<b>【筆記審査(専門・教職教養)】(中・高「英語」、高「情報」)</b>

月 日	時 間	実 施 内 容 ・ 会 場 等
8月16日(金) ～ 8月23日(金)	9:00～18:00	<p>【模擬授業】 ※別に指定する日時に行う。 （小・中・高・特支養護教諭、小・中栄養教諭、特別支援学校教諭（医療的ケア（自立活動）担当）受審者は場面指導を行う。）</p> <p>【個人面接審査】 ※模擬授業に引き続き行う。</p> <p>○鳴門教育大学附属小学校（徳島市南前川町1-1） 小学校教諭、中学校教諭、小・中栄養教諭、小・中養護教諭</p> <p>○徳島県立総合教育センター（板野郡板野町犬伏字東谷1-7） 高等学校教諭、特別支援学校教諭、高・特支養護教諭</p>

- (注) 1 高等学校教諭「書道」の模擬授業は、「書道」について実施する。  
2 受付終了時刻(徳島県教育委員会教職員課HPに掲載する日程による)に20分以上遅刻した者は受審を認めない。

## (2) 第2次審査の配点

実施内容	全校種・職種
面接 模擬授業・場面指導	450点

# 採用担当者はどう考えているのか

## 人物試験の評価観点

《1次審査》 人間性や社会性、教員としての適性

《2次審査》 指導力や教員としての資質・能力・適性

受検しやすいよう、筆記（一般教養以外）だけに  
する（徳島）

小論文で、適性をみることも可能（徳島）



香川県は小論文を廃止（面接と同じため）。過去の出題例は、「子どもたちを取り巻く現状を踏まえ、教員として能力や個性を伸ばすために、どう向き合い、取り組んでいくか」がテーマ。800字程度を書かせるものだった。

# 小論文の視点（徳島の場合）

- 書き方を覚える（テクニック？）  
大学入試までとは違う
- なぜそういった書き方なのか  
論理的な思考を表現
- では、何が大切か  
本質的な部分とは

作文（感想） → 論理と説得（小論文）



小論文とは、ある**テーマ**に対して、自分が考える**意見**とその**背景**や**理由(根拠)**を論述するものである。

小論文	項目 伝える 内容	作文
自分の意見や主張。		自分の体験やそれを通して感じたこと。
根拠や理由を示し、論理的、客観的に伝えることが求められる。	求められる要素	一般論ではなく、自分の気持ち、感想を伝えることが求められる。
基本的には使用しない(多少の比喩表現などであればOK)。	文学的な表現技法	効果的であれば使用してOK。
序論・本論・結論で構成する。	文章の構成	読みやすさが第一。細かな制限はない。
「だ・である」が基本。	文体	「だ・である」でも「です・ます」でもOK。どちらかに統一すること。

# 小論文のポイントとは

- ① テーマの把握
- ② 構成（・序論・本論・結論が明確になっている）
- ③ 字数（最低8割だが、出来ればぎりぎりまで）
- ④ 主語と述語がきちんとしてしている
- ⑤ 長い文にならない
- ⑥ 用紙の使い方（原稿用紙など）
- ⑦ 誤字・脱字は減点

考えをまとめることは、実は面接対応になる。

# 一方で面接、模擬授業は必須の項目

その実施方法及び評価の観点  
(香川県は詳細を公表)

第一次選考試験      面接試験  
(集団面接)

5～8名程度を1グループとし、30分間程度実施。  
与えられたテーマについての自由討議と個人への  
質問。

〈評価〉豊かな人間性、積極性、柔軟性、社会性、  
協調性などの観点を中心に評価を行う。

## 第二次選考試験(第一次選考試験合格者)

### 模擬授業

与えられた課題について、15分間程度で模擬授業と授業に関する質問を実施。

〈評価〉以下の観点を中心に評価を行う。

課題を的確にとらえ、適切な言葉でわかりやすく指導できているか。

児童生徒の意欲や関心を引き出し、課題解決へと導く工夫がみられるか。

表現力が豊かで、児童生徒をひきつける魅力があるか。

## 共通する点は

面接官は、「この問いかけだと子どもたちは分からないんじゃないかな」「意欲が落ちるかもしれない」と子どもたちの反応をイメージしている。

つまり、受検者自身が、自分の言動から子どもの反応が“予測”できるようになると、授業づくりにおいて、力がついてきたといえよう。

\* 予測→**経験**から生まれる。

# 香川県の例（徳島県とは異なるが・・・）

小学校4年生の算数で、同分母の分数の加法、減法について学習をします。

前時の授業までに、 $\frac{2}{5} + \frac{4}{5}$  など真分数と真分数の加法の計算の仕方や結果の表し方を身に

付けている児童が、帯分数の加法の計算の仕方や結果の表し方を身に付けることができるよう、次の問題を使って指導しなさい。

(問題)

$$1\frac{2}{5} + 2\frac{4}{5}$$

## 留意事項

- ・ すぐに授業の展開に入ることとし、始業のあいさつや机間指導は省略すること。
- ・ 児童の学ぶ意欲を高めるための工夫をすること。
- ・ 時間内に課題に関する指導を完結させること。

令和6年度審査(令和5年実施)の小学校模擬授業は「算数」でした。



# これからの対策

- ① 過去問に向かう
- ② 学習指導要領をまとめておく
- ③ 算数の模擬授業を練習（小学校）
- ④ 高校入試を解いてみる
- ④ 新聞を読もう

夜の教員採用試験勉強会 誰でも、何年生でも参加できます。

## 香川県教育委員会が来学します！



日時：令和6年 4月30日(火) 19時30分から

場所： **地域連携センター2階 教授スキル演習室**

(Zoom 配信あり) そのまま会場に来てください。

講師：香川県教育委員会義務教育課 主任管理主事 西原浩志氏

コティネータ：鳴門教育大学 特命教授 阪根健二

### 内容 令和7年度教員採用選考試験の説明と試験対策

香川県教育委員会作成の資料や過去の採用選考試験問題などを説明してくれます。会場では、実際に資料等を見る時間、個別の質問の時間もあります。

今回も、1月の説明会でも説明されました「採用試験がどんな形で行われるのか」など、学部3年生から一部の試験が受けられる県として、その内容や試験対策なども聞けます。(院生、4年生だけでなく、2、3年にもチャンス！)

採用試験が変化している今、早めに対策が求められます。今が採用の最後のチャンスです。香川県以外の希望者も、この機会に参加してみませんか。勉強会は火曜日の夜です。対面でも Zoom(スマホやPC等)でも参加できます。



**Zoom** での参加者へ

阪根塾の詳細は上記 QR コードから

**ID:207 411 8445、パスコード:480077**

(開催5分前頃に接続してください)

申し込みの必要はありません。そのまま接続してください。

